

学校支援を積極的に進めよう

～ 共に考え、共に行動、共に成長する P T A ～

碧南市立日進小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本学区は、校舎の東側を流れる矢作川まで田畑やビニルハウスなどが点在し、田園風景が残る緑豊かな地域である。

碧南市の南東部に位置する本校は、児童数 3 5 6 人、全学年 2 学級の市内で最も小規模な学校である。明治 5 年に創立、今年度 1 5 0 周年を迎えた歴史ある学校で、二世帯、三世帯が同居する家族も多く、学校への関心は高い。学校行事や授業参観などへの保護者の参加も多く、P T A 活動にも非常に協力的である。

2 研究のねらい

本校の教育目標は「校訓『誠実』を教育活動の理念に据え、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成」である。その実現に向け、保護者も積極的に学校を支え、互いに連携し合うことが重要であると考え。そこで、より多くの保護者が学校と関わり、子どもたちの健やかな成長のために、共に考え、共に行動することが大切だと考えた。

3 研究の仮説

保護者が積極的に学校行事に関わり、地域に根ざした P T A 活動を推進していくことで、保護者（家庭）、地域、学校の良い関係を築くことができ、目指す児童の育成につながるだろう。

4 研究の方法

P T A の 5 つの委員会（成人研修・保健体育・文化広報・教護安全・環境改善）に全教職員が所属し、各委員会が中心となって行事や活動を企画・運営していく。

5 研究の実践

（1）日進小学校・日進地区運動会

本校は、市内で唯一地区と合同で運動会を開催している。令和元年度までは一日開催で行っていたが、令和 2 年度からは熱中症及び感染症対策で半日開催を余儀なくされた。

運動会当日は、参観者数を制限したものの大勢の保護者が出入りするため、感染症対策は大変重要となる。そこで、2 8 人の P T A 委員を 3 つに分け、一箇所にした会場入り口の交通整理、受付での検温票の確認・回収、検温を忘れた方の対応、希望者への再入場券の配付などをローテーションで行った。事前に繰り返しお願いしていたこともあり、当日は非常にスムーズに来場者を誘導でき、事後も感染が拡大することは一切なく、児童、参観者共に安全に運動会を行うことができた。



【受付付近の準備をする委員】

(2) 道徳授業講座

本校は、令和3年度に市の教育研究指定校の委嘱を受け、令和5年度の成果発表に向けて特別の教科 道徳の授業を中心に研究を進めている。「教科」となった道徳の授業では、何をねらいとして、どのような授業を行っているのかを保護者に知っていただくため、大学の准教授をお招きして模擬授業形式の講座を開催した。

当日は、40名ほどの保護者を対象に、臓器移植を受けた経験のある方をゲストティーチャーとしてリモートでつなぎ、移植後の生活の劇的な変化を素直に喜べない心の葛藤と、臓器提供者の家族の言葉で前向きになれた生き方について参加者で考えた。参加者の中には「生きていていいんだ」というゲストティーチャーの言葉に涙しながら聞き入る姿も見られ、「もっとお話を伺いたい」「今後このような機会があれば次回も参加したい」と大変好評であった。



【ゲストティーチャーをお招きして】

(3) 文化会館引き渡し訓練

本校の地盤は標高0.9mと低く、地震とその後起こる津波により矢作川が氾濫、堤防が決壊した場合、水没の恐れがあり、避難所として指定されていない。したがって、地震や津波の規模によっては学校の北西側、すなわち市内の中心部に建つ文化会館に徒歩で避難することになる。1kmほど離れた文化会館へ、1年生から6年生まで約350人の児童を誘導するのは大変である。

そこで、PTA委員が要所に立哨し、児童の避難を見守り、声かけをする活動を行った。ランドセルを背負った低学年には長い距離ではあるが、事故もなく無事避難を完了、その後保護者に引き渡すことができた。

(4) 創立150周年記念行事音楽鑑賞会

今年度、学校創立150周年を迎える本校は、記念行事として愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部を文化会館にお招きし、日本の音楽を鑑賞する会を行った。

PTAでは、文化会館入り口で学校から移動してきた児童の手指消毒を行い、会の司会進行は成人研修委員会が担当した。

迫力ある吹奏楽部の演奏は素晴らしく、子どもたちは音楽の素晴らしさや楽器の楽しさを存分に味わうことができた。



【感謝の花束を渡す委員】

6 研究の考察

コロナ禍の中、安心と安全を確保しながら、子どもたちのためにPTAとして何ができるか、地域や学校と共に考え、行動することにより、三者の良好な関係を築くことができた。そのことが子どもたちの成長により影響を及ぼし、目指す児童の育成に寄与することができたと考える。

7 成果と今後の課題

PTA活動を通して積極的に行事や活動に関わることで、子どもたちの健やかな成長を支えることができた。いろいろな行事や活動がその形を変えていく今だからこそ、地域や学校と共に考え、共に行動することが、新たなPTAの在り方につながっていくものと考えている。